

# UR賃貸住宅は、特殊会社化せず、公共住宅として存続を 全会一致で意見書議決、総理大臣などに送付

## 公共住宅として、居住者の居住の安定策の推進などを要望

第2回定例区議会に、「都市再生機構賃貸住宅(旧公団住宅)を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書提出を求める請願」(田町駅前団地自治会、南青山三丁目第二団地自治会、芝浦二丁目団地自治会)が提出され、7月6日の本会議で請願が全会一致で採択され、建設委員会へ提案した「意見書」も全会一致で議決され、総理大臣などに送りました。

「住まいは、人権」世界の流れ  
風見委員、請願採択に奮闘

7月4日の建設委員会で、請願代表者から、「私たちは、みんなやってきたコミュニティを壊したくない」、「住宅部門は、黒字になっている」、「公共住宅は絶対なくしてほしくない」旨の補足説明を受け、審議しました。

風見委員は、公団住宅が長年果たしている役割、区内で約3800戸、7500人ほどの区民が住んでおり、港区にとっても重要な住まいの役割を担っている、公共住宅の役割の重要性は増しており、国が責任を持つのは当然等々、質問、意見を述べました。

その結果、「請願」は、全会一致で採択されました。

定期借家方式でなく、  
一般の募集を  
南青山三丁目団地は、  
きちんと維持・補修を

風見委員は、口頭で述べら

る要望を紹介し、URに改善を要請するよう求めました。担当課長は、委員からのお話は「URに伝える」と答えました。

一つは、最近URが青山などの空き家を、定期借家(二年間)で募集をしているが、大震災などを考えたとき、団地のコミュニティが大事。短期間の入居でなく、せっかく空いている住宅は有効に活用すべきこと。

もう一つは、南青山三丁目住宅が、ドアの塗装がはがれる等々、他の団地と比べて維持・補修がないがしろにされていること。などの改善を求めました。



裏面に意見書掲載

無料なんでも相談会

毎月第3月曜日 18時30分～

事前にご予約ください



風見利男 (日本共産党 港区議会議員)

区政とあなたを結ぶ

号外

Email ● [kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp](mailto:kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp)  
HP ● <http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/>

新しい視点 展望しめす

しんぶん 赤旗

日刊紙 ● 月3,400円  
日曜版 ● 月 800円